

いのちをつなぐ9つの赤十字事業は
皆さまのご協力によって支えられています。

災害救護活動



万が一の災害に備えて

地震や豪雨などの災害が発生した場合、医療救護班の派遣・救援物資の配布等さまざまな支援活動を行います。また、訓練・研修の実施、防災・減災意識の啓発にも努めています。

救急法等の講習



とっさの手当てがいのちを救う

県内各地で救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習会を開催し、応急手当の方法や健やかな生活を送るために役立つ知識と技術を普及しています。

青少年赤十字活動



未来を担う子どもたちに
思いやりの心を

県内208校の加盟校では、長野県教育委員会と連携し、人権や防災などの赤十字プログラムを取り入れ、子どもたちの「気づき・考え・実行する」力を育成しています。

赤十字奉仕団活動



赤十字活動を支える大きな力

県内各市町村に組織される地域奉仕団、おおむね18～30歳の社会人や学生が所属する青年奉仕団、専門知識・技術を持つ特殊奉仕団が、各地でさまざまなボランティア活動に取り組んでいます。

看護師養成



人の痛みに優しく寄り添う
看護を目指して

赤十字理念に基づいた教育を通じ、豊かな人間性を育み、看護に関する幅広い能力を備えた救護看護師を養成しています。

国際活動



国際赤十字の
ネットワークを活かして

世界各地で紛争、災害、病気といった人道危機に苦しむ人々への支援を届けるため、192の国と地域に広がる赤十字のネットワークを活かして支援活動に取り組んでいます。

医療事業



県内6つの赤十字病院は、公的な医療機関として多様化する地域医療のニーズに
応えているほか、急性期医療、高度医療、訪問看護サービス等を展開しています。

血液事業



輸血を必要とする人を救うため、献血を受け付け、安全な血液製剤を医療機関へお届けしています。

社会福祉事業



家庭で養育することが困難な乳幼児をお預かりし、健やかに育てるとともに、育児相談などの子育て支援も行っています。

赤十字への寄付方法をお選びいただけます

自宅の玄関で

自治会や赤十字奉仕団等の皆さまのご協力のもと、戸別訪問による募集を行っています。



口座振替・クレジットカードで

預金口座からの振替により定期的に納入していただけます。また、日本赤十字社のホームページからクレジットカード決済がご利用いただけます。



市町村窓口で

日本赤十字社長野県支部または各市町村の赤十字窓口で随時受け付けています。



遺贈など

遺贈や相続財産による寄付を受け付けています。これらの寄付金は相続税などの優遇措置が受けられます。



寄付方法の詳細は、日本赤十字社Webサイト「寄付する」のページをご覧ください。

税制上の優遇措置が受けられます

個人：所得税、個人住民税などの控除
法人：法人税の控除
※詳しくは、最寄りの税務署などにご相談ください。



日赤活動資金と義援金の違いについて

■ 日赤活動資金とは？

赤十字の活動を支援するお金

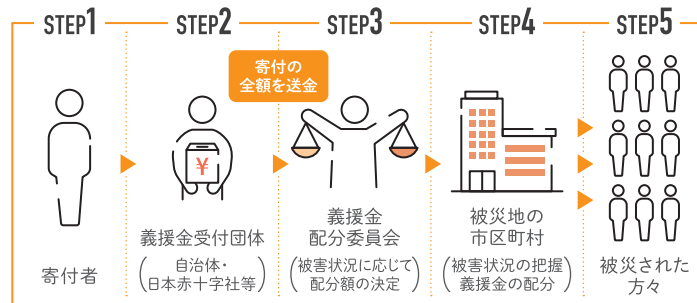


赤十字の活動に使われる

災害時は、医療救護やこころのケアなど、被災された方々を支援し、平時は、AED講習や防災教育などの人道支援活動を行います。

■ 義援金とは？

被災された方々へ贈るお金



被災者に届ける

被災された方々の当面の生活を支援するために配分されるもので、金額、被災された方々に届けられます。



〒380-0836 長野市南県町1074

TEL: 026-226-2073

<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/>

詳細はコチラから▶

日赤長野県支部

検索



日赤活動資金申込書

太枠内をご記入ください

金 額	円	申込年月日	令和 年 月 日
住 所	〒 -		
氏 名	フリガナ		
地区名 町会名 等	【地区】: 【町会】: 【組等】:		取扱者印

【個人情報について】 日本赤十字社長野県支部は、日赤活動資金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、日赤活動資金募集活動のためにのみ使用します。

ご協力ありがとうございました。

領 収 書	
金 額	円
氏 名	様
上記金額を領収しました。	
令和 年 月 日	取扱者印
日本赤十字社長野県支部	

赤十字は、 動いてる！

+ SAVE365

Japanese
Red Cross Society

知らなかった！

赤十字は、災害が起きた時に駆けつけるだけじゃないんだ。
365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けているんだね。
災害に備えた訓練、知識や技術の普及、
物資の整備、医療現場や海外での活動などなど、
すべてが人を救うことにつながっている。
このかけがえのない日常を支える赤十字の日々の活動を、
私が伝えていきます。



TEAM
SAVE365

一緒に、救える。

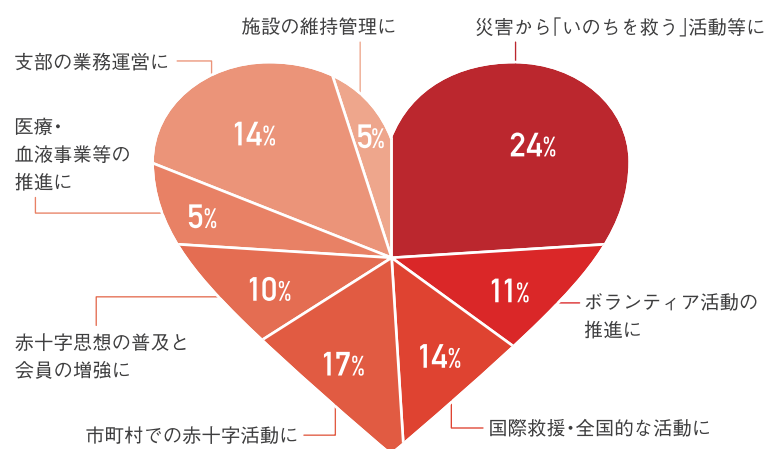
日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和5年度事業費総額

3億3,188万
5,000円



災害発生時の対応

日本赤十字社による災害救護活動

災害時に、日本赤十字社は、医療救護、こころのケア、救援物資の配布、血液製剤の供給、義援金の受付及び配分など、さまざまな活動を展開しています。また、今後起こりうる大規模災害に備え、毎年、近隣8県合同による訓練を実施しています。令和4年度は、諏訪赤十字病院と周辺施設を会場に、災害対策本部要員、医療救護班、赤十字ボランティア、関係機関等440人が参加し、救護班による救護所の設置や避難所の巡回診療などを行うとともに、関係機関との連携強化を図りました。



被害状況等の共有や救護計画の策定

関係機関等との調整、災害救護計画の策定

日本赤十字社各都道府県支部では、災害対策本部を設置し、被災地における医療ニーズの把握や被災状況などの情報収集に職員を派遣するとともに、関係機関等と緊密な連携を図り、医療救護班の派遣や救援物資の配布にかかる計画等を策定します。



傷病者のトリアージ

医療救護・こころのケア

赤十字病院の医師や看護師等で編成する医療救護班や仮設診療所設備を備えた車両を被災地の救護所等に派遣し、診療を行うほか、ストレスの緩和を図るこころのケアにも努めています。

救援物資の整備

災害に備えて、救援物資を整備し、迅速かつ円滑に配布できるよう、県内23カ所の倉庫に備蓄しています。



おしえて！

“日赤活動資金の使い方”

皆さまからのご寄付は、「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う人道支援活動に大切にに使わせていただいています。

1 皆さまからのご寄付



地域での活動

より良い地域づくりを目指して、地域におけるボランティア活動を行っています。



災害への備え

もしもの時に備えて、救援物資の備蓄や各種講習等による啓発活動を行っています。



災害発生時の対応

県内外の救護班や赤十字ボランティアとともに、被災地における災害救護活動を展開しています。



5

未来のために

いつの日も、支え合える社会であるために。大切なことを、子どもたちにつないでいきます。



地域での活動

赤十字奉仕団活動



「人や社会の役に立ちたい」という思いを持った仲間が協力し、高齢者福祉、児童育成、防災・減災、献血推進、会員増強など、地域に根ざした活動に取り組んでいます。

下條村赤十字奉仕団では、「日本の伝統文化や食に触れるきっかけづくりを通して、支え合える地域を作りたい」との思いから、毎年、保育所の餅つき行事に参加しています。

より良い地域づくりに貢献するため、赤十字奉仕団は、これからもさまざまなニーズに応じた活動を続けていきます。

赤十字ボランティアについて、詳しくはこちら。
<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/volunteer/>



災害への備え

赤十字講習会

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、子どもから大人までを対象に、さまざまな赤十字講習を実施しています。その一つ、救急法講習は、心肺蘇生とAEDの使い方、日常生活における事故防止、止血の仕方、災害時の心得などの知識と技術を学ぶことができます。指導にあたるボランティアは、「いざという時に行動できる人が増えることを願って、講習に取り組んでいます」と話してくれました。大切な人の命を守るため、これからも企業や団体、学校等で、安心・安全に役立つ講習の普及を進めていきます。

赤十字講習会について、詳しくはこちら。
<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/study/>



未来のために

青少年赤十字活動



学校教育の中で、児童・生徒の「やさしさ」や「思いやりの心」を育成することを目的に、さまざまな活動を展開しています。

佐久市立田口小学校では、挨拶運動や観光施設の清掃など、日々の生活の中に青少年赤十字活動が取り入れられてきました。ある児童は、「私たちの学校は、日本赤十字社の創設者の一人である大給恒が造った龍岡城五稜郭跡にあります。田口小のみんなは、青少年赤十字の経験があるから、人に優しくしたいという気持ちが強いと思います。」と誇らしげに話してくれました。同校は、令和4年度末をもって統合となりましたが、新校でも、新たな仲間とともに、青少年赤十字活動が続けられます。

青少年赤十字活動について、詳しくはこちら。
<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/youth/>

